

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

使用教科書：（高等学校 精選 現代の国語（第一学習社））

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】言語や表現の特性に対する理解を深め、社会生活に必要な国語の知識・技能を身に付ける
- 【思考力、判断力、表現力等】論理的思考力、他者への共感性、豊かな想像力を培い、伝え合う力を高め、自らの考えを広め深める。
- 【学びに向かう力、人間性等】言語感覚を磨き言葉による認識を深め、言語文化の担い手としての自覚をもち、国語の能力を向上させる態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会で求められる、他者と関わる上で必要な国語の知識・技能を身に付けるようにする。	言葉による思考や認識を働かせながら論理的思考力、他者に共感する力、想像力を育み、伝え合う力と思考力を高める。	言葉に思考や認識を支える働きがあることを理解するとともに、読書に親しむ姿勢を育て、言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会に関わる態度を培う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 時 数
		話・聞	書	読					
<p>単元 比較文化</p> <p>【知識及び技能】 本文中の常用漢字や語句・語彙、文章の効果的な組み立て方を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるような文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 読み取りや論理展開の分析を粘り強く行う。また、表現の仕方を工夫した説明をしようとする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・常用漢字を文や文章の中で活用する。</p> <p>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</p> <p>・例示などの修辭を理解する。</p> <p>・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。</p> <p>・論理的な文章や実用的な文章を読み、必要に応じて本文や資料を引用して文章を書く</p> <p>・教材 「水の東西」</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	○	○		<p>【知識及び技能】</p> <p>・本文中の主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方について、その構造や特色などを理解している。</p> <p>・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方などを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。</p> <p>・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。</p> <p>・水を用いた芸術や仕掛けについて積極的に題材を探し、表現の仕方を工夫して説明しようとしている。</p>	○	○	○	4
<p>単元 自己と他者を見つめる</p> <p>【知識及び技能】 本文中の常用漢字や語句・語彙、文章の効果的な組み立て方を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるような文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 読み取りや論理展開の分析を粘り強く行う。また、表現の仕方を工夫した説明をしようとする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・常用漢字を文や文章の中で活用する。</p> <p>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</p> <p>・主張と論拠等情報と情報の関係を理解する。</p> <p>・教材 「「本当の自分」幻想」</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>		○		<p>【知識及び技能】</p> <p>・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。</p> <p>・主張と論拠、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。</p> <p>・自己と他者に関する筆者の主張に説得力を持たせるための論の展開について考えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、粘り強く論理の展開を把握しようとしている。</p> <p>・積極的に本文中に根拠を求め、筆者の主張に対する自分の考えを、表現の仕方を工夫して書こうとしている。</p>	○	○	○	5
定期考査						○	○		1
<p>単元 文章の対比構造を捉える</p> <p>【知識及び技能】 本文中の常用漢字や語句・語彙、文章の効果的な組み立て方を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるような文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・常用漢字を文や文章の中で活用する。</p> <p>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</p> <p>・主張と論拠等情報と情報の関係を理解する。</p>				<p>【知識及び技能】</p> <p>・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。</p> <p>・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。</p>				

1  
学  
期

	<p>的確に伝え、読み手の理解が得られるような文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 読み取りや論理展開の分析を粘り強く行う。また、表現の仕方を工夫した説明をしようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材 「「間」の感覚」「日本語は世界をこのように捉える」</li> <li>一人1台端末の活用 等</li> </ul>	○		<p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「活動の手引き二」の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。</li> <li>対比による論理構成を把握し、日本文化および日本人の行動様式の特徴を理解している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p>	○	○	○	8	
	<p>単元 具体と抽象の関係を捉える</p> <p>【知識及び技能】 本文中の常用漢字や語句・語彙、文章の効果的な組み立て方を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるような文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 読み取りや論理展開の分析を粘り強く行う。また、表現の仕方を工夫した説明をしようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>常用漢字を文や文章の中で活用する。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>主張と論拠等情報と情報の関係を理解する。</li> </ul> </li> <li>教材 「ものとことば」</li> <li>一人1台端末の活用 等</li> </ul>	○		<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。</li> <li>主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。</li> <li>具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>具体例を示しながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って整理しようとしている。</li> <li>言葉が認識や思考を支えることについて、他のテキストと進んで読み合わせ、説明の仕方を工夫して、理解したことを報告しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	7	
	定期考査					○	○			1
	<p>単元 科学と技術の現状を考える</p> <p>【知識及び技能】 本文中の常用漢字や語句・語彙、文章の効果的な組み立て方を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるような文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 読み取りや論理展開の分析を粘り強く行う。また、表現の仕方を工夫した説明をしようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>常用漢字を文や文章の中で活用する。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>主張と論拠等情報と情報の関係を理解する。</li> </ul> </li> <li>教材 「文化」としての科学</li> <li>一人1台端末の活用 等</li> </ul>	○		<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。</li> <li>主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。</li> <li>筆者が主張する科学と技術の違いを対比的に整理し、現状における科学と技術の関係を理解している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>接続の仕方に注目して文章の構成をつかみ、学習課題に沿って説明しようとしている。</li> <li>文章から主張と論拠を読み取り、表現の仕方を工夫して自分の考えをまとめようとしている。</li> </ul>	○	○	○	5	
	<p>単元 比較を通して表現への理解を深める</p> <p>【知識及び技能】 主な常用漢字、語句・語彙の文化的背景を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえて課題に沿って内容を記述し、説明する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 記述課題に粘り強く取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>常用漢字を文や文章の中で活用する。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>主張と論拠等情報と情報の関係を理解する。</li> </ul> </li> <li>教材 「羅生門」</li> <li>一人1台端末の活用 等</li> </ul>	○		<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。</li> <li>主張と論拠など、情報の扱い方について理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取るなどして、根拠の示し方や説明の仕方、表現の仕方を工夫して自分の考えを的確に伝えていく。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。</li> <li>内容の解釈を踏まえて粘り強く下人の行為を評価し、表現の仕方を工夫して書こうとしている。</li> </ul>	○	○	○	8	
	定期考査					○	○			1
2	単元 情報とメディアの現状を考え	指導事項			【知識及び技能】					

<p>学期</p>	<p>【知識及び技能】 本文中の常用漢字や語句・語彙、文章の効果的な組み立て方を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるような文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 読み取りや論理展開の分析を粘り強く行う。また、表現の仕方を工夫した説明をしようとする。</p>	<p>・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠等情報と情報の関係を理解する。 ・教材 「現代の「世論操作」」 ・一人1台端末の活用 等</p>	○	<p>・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。</p> <p>・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持っている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・個別の情報をどのように一般化しているかを進んで捉え、学習課題に沿って説明しようとしている。 ・現代社会の課題を把握し、根拠の示し方や説明の仕方を考えて書こうとしている。</p>	○	○	○	8
<p>単元 社会と政治の現状に注目する</p>	<p>【知識及び技能】 本文中の常用漢字や語句・語彙、文章の効果的な組み立て方を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるような文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 読み取りや論理展開の分析を粘り強く行う。また、表現の仕方を工夫した説明をしようとする。</p>	<p>・指導事項 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠等情報と情報の関係を理解する。 ・教材 「フェアな競争」 ・一人1台端末の活用 等</p>	○	<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。</p> <p>・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する自分の考えを書いて伝えようとしている。 ・本文で示された哲学者の事績について粘り強く調べ、内容との関わりがわかるようにまとめようとしている。</p>	○	○	○	7
<p>定期考査</p>					○	○		1

3 学 期	<p>単元 近代化について考える</p> <p>【知識及び技能】 本文中の常用漢字や語句・語彙、文章の効果的な組み立て方を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるような文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 読み取りや論理展開の分析を粘り強く行う。また、表現の仕方を工夫した説明をしようとする。</p>	<p>・指導事項 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠等情報と情報の関係を理解する。 ・教材 「不均等な時間」 ・一人1台端末の活用 等</p>	○	○	<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・具体的事例から一般論への展開と、対比の構造とを手がかりとして、近代化と時間の合理性との関係を理解している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・対比による推論を叙述を基に理解し、学習課題に従って要旨をまとめようとしている。 ・既習の評論と粘り強く読み比べ、積極的に持続可能な社会に関する意見文を書こうとしている。</p>	○	○	○	5
	<p>単元 資料比較</p> <p>【知識及び技能】 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使う。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・労働問題に関わる資料を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の文章を関連づけながら理解したことをまとめる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・複数の図表を粘り強く読み取り、理解したことを学習課題に沿ってまとめる。 ・複数の図表から読み取った情報を粘り強く吟味し、表現の仕方を工夫してまとめる。</p>	<p>・指導事項 資料を読み比べて必要な情報を読み取る。また、複数の情報を関連づけ、理解したことをまとめる。 ・文章や図表に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 ・図表等を読み、理解したことをまとめる。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、表現の仕方を工夫する方法を学ぶ ・教材「日本の労働問題に関わる資料を読み比べる」</p>	○	○	<p>【知識及び技能】 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・労働問題に関わる資料を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の文章を関連づけながら理解したことをまとめている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・複数の図表を粘り強く読み取り、理解したことを学習課題に沿ってまとめようとする。 ・複数の図表から読み取った情報を粘り強く吟味し、表現の仕方を工夫してまとめようとする。</p>	○	○	○	8
	定期考査						○	○	
									合計
									70

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

使用教科書：（高等学校 精選 言語文化（第一学習社））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】言語や表現の特性に対する理解を深め、社会生活に必要な国語の知識・技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】論理的思考力、他者への共感性、豊かな想像力を培い、伝え合う力を高め、自らの考えを広め深める。

【学びに向かう力、人間性等】言語感覚を磨き言葉による認識を深め、言語文化の担い手としての自覚をもち、国語の能力を向上させる態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語知識・技能を身に付けると共に、我が国の言語文化に対する理解を深める。	言葉による思考や認識を働かせながら論理的思考力、他者に共感する力、想像力を育み、伝え合う力と思考力を高める。	言葉に思考や認識を支える働きがあることを理解するとともに、読書に親しむ姿勢を育て、言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会に関わる態度を培う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
		語	書 読					
<p>見のそら寝</p> <p>【知識及び技能】 ・本文中の特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解する。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合う。</p>	<p>・指導事項 ・作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・教材 「見のそら寝」「絵仏師良秀」</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>			<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解している。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。</p>				6
<p>訓読に親しむ</p> <p>【知識及び技能】 ・言語文化に特徴的な語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・古典に親しむため、読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・訓読するための基礎知識として、返り点や再読文字の種類、読み方を習得する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 漢文訓読の基礎知識を積極的に身に付けようとする。</p>	<p>・指導事項 ・漢文を訓読するための基礎的な返り点等の知識を習得する。 ・故事成語等にふれ、語彙力を増やす。 ・自国の文化と外国の文化の関係について理解する。 ・教材 「訓読に親しむ一～三」 ・一人1台端末の活用 等</p>			<p>【知識及び技能】 ・言語文化に特徴的な語句の量を増やし、語彙を豊かにしようとする。 ・古典に親しむため、読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・訓読するための基礎知識として、返り点や再読文字の種類、読み方を習得する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 漢文訓読の基礎知識を積極的に身に付けようとする。</p>				8
<p>定期考査</p>								1
<p>1 学 期</p> <p>なよ竹のかぐや姫</p> <p>【知識及び技能】 ・本文中にある特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを把握する。 ・作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・初期仮名物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って伝奇性や心情描写の特色を捉える。</p>	<p>・指導事項 ・作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・教材 「なよ竹のかぐや姫」 ・一人1台端末の活用 等</p>			<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを把握している。 ・作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・初期仮名物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って伝奇性や心情描写の特色を捉えようとしている。</p>				8
<p>単元 故事成語</p> <p>【知識及び技能】 ・言語文化に特徴的な語句の量を増やす。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめる。</p>	<p>・指導事項 ・ものの考え方や見方を広げる。 ・基礎的な返り点等の事項を習得する。 ・教材 「狐借虎威」 ・一人1台端末の活用 等</p>			<p>【知識及び技能】 ・言語文化に特徴的な語句の量を増やす。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめる。</p>				8
<p>単元 俳句</p> <p>【知識及び技能】 ・言語文化に特徴的な語句の量を増やす。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・</p>	<p>・指導事項 ・ものの考え方や見方を広げる。 ・基礎的な返り点等の事項を習得する。 ・教材 「こころの帆」 ・一人1台端末の活用 等</p>			<p>【知識及び技能】 ・言語文化に特徴的な語句の量を増やす。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめる。</p>				6



2 学 期	士佐日記	<p>・指導事項</p> <p>・作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</p> <p>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</p> <p>・教材 「士佐日記」 門出、帰郷</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・我が国最初の日記文学を読んで、記録としての日記とは異なる表現方法と執筆意図を読み解く。</p> <p>・日記という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・学習の見通しをもって虚構性の高い日記を読み、執筆意図などについて積極的に批評したり討論したりする。</p>	○	○	○	10
	単元 史伝	<p>・指導事項</p> <p>・時代背景を知り、作中に書かれた人物の考えや人物像を読み取る。</p> <p>・教材 「史伝」</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>・古典の世界に親しむため、古典を読むために必要なきまり等を習得する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・時代背景を知り、作中の人物の考えを読み取る。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・積極的に作品を読み、人物の考えや人物像を説明する。</p>	○	○	○	8
	定期考査				○	○	
3 学 期	平家物語	<p>・指導事項</p> <p>・作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</p> <p>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</p> <p>・教材 「平家物語」 木曾の最期</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを理解する。</p> <p>・軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・作品に表れている無常観を粘り強く読み取り、自分の考えを広げたり深めたりする。</p>	○	○	○	9
	論語	<p>・指導事項</p> <p>・もの考え方や見方を広げる。</p> <p>・訓読の決まりを理解する。</p> <p>・教材 「論語」</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>・古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現に理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・孔子のものの見方、考え方を理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・孔子について図書館等の資料を用いて調べる。</p>	○	○	○	8
	近現代の短歌と和歌	<p>・指導事項</p> <p>・和歌という文章の種類を踏まえて、理的に表現された情景や心情など、内容や展開を的確に捉える。</p> <p>・作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</p> <p>・教材 「その子二十」「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・枕詞や序詞などの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。</p> <p>・我が国の言語文化の特質、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞の仕方理解し、黎明期の和歌の特色を捉えている。</p> <p>・和歌という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・和歌の修辭技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉える。</p>	○	○	○	8
合計							105





高等学校 令和6年度（1学年用） 教科

公民 科公共

教科：公民 科目：公共

単位 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（清水書院『高等学校 公共 私たちがひらく未来・社会』）

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。 ・諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実をもとに多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力がある。	・よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚、国民主権を担う公民として各国民が協力し合うことの大切さの自覚などを深めている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>【知識及び技能】 生涯における青年期の意義や、現代社会における青年の状況について理解し、その基本的な知識を身につけている。先哲の在り方生き方について理解を深めている。その思想に関する基本的な知識を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己の内面形成と社会との関わりに着目しながら、自己形成の課題について考察し、適切に表現している。先哲の在り方生き方に触れて考えたことを、自らの言葉で適切に表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自らが公共的な空間をつくる主体であることを自覚している。よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>・青年期の特徴と発達課題、様々な人間の心の在り方について理解させ、豊かな自己形成に向けて、他者とともによりよく生きる自己の生き方についての思索を深める。 ・ギリシャ哲学や宗教の学習を通して、「幸福」「愛」「徳」などの観点から、人間としての在り方生き方について思索させるとともに、人生における宗教や芸術の持つ意義について理解させる。 ・日本の思想が我が国の風土や伝統、外来思想の影響を受けながら形成されてきたことを理解させ、国際社会に生きる日本人としての自己の在り方生き方について多面的・多角的に考察させる。</p>	<p>【知識・技能】 【思考・判断・表現】 統計データ・新聞・原典資料・芸術作品などからの読み取り、ワークシート、小テスト 【主体的な態度】 ディスカッション、プレゼンテーション、レポート</p>	○	○	○	7
<p>【知識及び技能】 行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。生命科学や科学技術の進歩にともない、様々な課題が生じてきていることを理解し、その基本的な知識を身につけている。環境に関わる政治・経済体制や倫理観の重要性を理解し、その基本的な知識を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 幸福、正義、公正などの倫理的価値をふまえ、倫理的価値や人間としての在り方生き方を、多面的・多角的に考察し、表現している。行為の結果としての個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を対比したり、思考実験など概念的な枠組みを活用したりしながら、倫理的価値や人間としての在り方生き方について考察している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間をつくる人間としての在り方生き方について考えようとしている。よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>・カントの思考と功利主義の考え方の理解をもとに、社会の構成員としての自己を意識させるとともに「幸福」「正義」「公正」などの観点から、他者との関わりや社会の在り方について考察させる。 ・生命科学や医療技術の進展にともなって生じた倫理的課題から、生きることの意義について思索させるとともに、「幸福」「公正」などの観点から、社会の在り方について考察させる。 ・深刻化する環境問題とその解決に向けた取り組みを理解させ、地球規模の課題を身近な地域の問題として捉え、社会の構成員として生きる自己の在り方について考察させる。</p>	<p>【知識・技能】 【思考・判断・表現】 統計データ・新聞・原典資料・芸術作品などからの読み取り、ワークシート、小テスト 【主体的な態度】 ディスカッション、プレゼンテーション、レポート</p>	○	○	○	3
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>【知識及び技能】 近現代の思想家の在り方生き方について理解を深め、その思想に関する基本的な知識を身につけている。人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取っている。公共的な空間をつくるうえで、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保とともに図ることが必要であることについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 幸福、正義、公正などの倫理的価値を踏まえ、個人と社会との関わりを多面的・多角的に考察し、表現している。公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間における基本原理について、現代の諸課題と結びつけて考えようとしている。よりよい社会の実現のための行動に主体的に関わりようとしている。</p>	<p>・経験論や合理論などの科学的な思考、社会契約説、ヘーゲルやマルクス、実存主義などの近代思想を通して、自然と人間との関わりを理解させ、社会の在り方と人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察させる。 ・ハーバーマスのアールント、ロールズの政治理論の理解をもとに、「公共的な空間」として形成された現代社会の諸課題、「社会的存在」である人間の在り方生き方について考察させる。</p>	<p>【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ケーススタディ、新聞などからの読み取り、ワークシート、定期テスト 【主体的な態度】 ディスカッション、プレゼンテーション、レポート</p>	○	○	○	7
<p>【知識及び技能】 近代民主主義国家の成立や基本的な原理を、関係する諸資料などから適切に指摘できる。日本国憲法の成立について、その歴史的背景と経緯について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 近代民主主義国家における課題を見出している。個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について、幸福、正義、公正の観点から多面的・多角的に考察し、適切に表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代の民主主義国家に対する関心を高め、個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について考察しようとしている。</p>	<p>・個人の尊重と基本的な人権の保障、法の支配や立憲主義という近代民主主義国家の基本的な原理を理解させ、国民の自由や権利が保障されていることの意義を考察させる。 ・日本国憲法の成立について、その歴史的背景と経緯について理解を深める。</p>	<p>【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ケーススタディ、新聞などからの読み取り、ワークシート、定期テスト 【主体的な態度】 ディスカッション、プレゼンテーション、レポート</p>	○	○	○	2



	<p>【知識及び技能】 日本国憲法の人権規定や新しい人権、人権諸条約などの内容、基本的人権の具体的な意味と法の支配、立憲主義の概念を理解している。憲法の平和主義についての内容や、今日の安全保障をめぐる情勢について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 憲法の人権保障について、法の支配、個人の尊重を基礎に人権を考察し、権利をめぐる様々な立場を踏まえて判断・考察・表現している。平和主義と今日の安全保障政策の課題や方向性について、幸福、正義、公正の観点から考察し、多様な見方を踏まえて判断している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 憲法と人権に関心をもち、自己の生き方と結びつけて考察しようとしている。国際協調と平和主義を基礎とする日本の安全保障と自己の生き方を結びつけて関心を高めている。</p>	<p>・日本国憲法の三つの基本原理を踏まえ、平和主義と日本をめぐる安全保障に関する情勢を理解させる。・日本国憲法が保障している基本的人権の内容を通して、政治制度との関わりについて考察させ、個人の尊厳、自由、平等などの社会的価値について理解を深めさせる。・現代社会において、基本的人権を拡充するものとして主張されている新しい人権の内容を理解させるとともに、国際社会における人権に関する諸条約の意義を考察させる。</p>	<p>【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ケーススタディ、新聞などからの読み取り、ワークシート、定期テスト【主体的な態度】 ディスカッション、プレゼンテーション、レポート</p>					7
	<p>【知識及び技能】 現代の民主政治と政治参加に関する諸資料をメディアから適切に選択し、効果的に活用し、民主政治と政治参加に対する理解を深め、その基本的な知識を身につけている。選挙に関する諸資料を収集して、求める課題についての情報を読み取ることができる。選挙と政党についての知識を身につけ、現状を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 現代の民主政治と政治参加から課題を見出し、民主政治における個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について、幸福、正義、公正の観点から多面的・多角的に考察し、適切に表現している。国民の政治参加について、幸福、正義、公正の観点から考察して判断している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代の民主政治と政治参加に対する関心を高め、民主政治における個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について考察しようとしている。</p>	<p>・民主社会の成立過程、現代社会の民主政治のしくみと世界の政治制度について理解させる。・民主政治における世論形成と政治参加の意義について理解させ、主権者（有権者）として社会に関わる意識を高めさせる。</p>	<p>【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ケーススタディ、新聞などからの読み取り、ワークシート、定期テスト【主体的な態度】 ディスカッション、プレゼンテーション、レポート</p>					5
	<p>定期考査</p>							1
2 学期	<p>【知識及び技能】 国会・内閣・司法・地方自治についての諸資料を収集し、資料から課題を読み取り、政治・統治のしくみについての基本的知識を身につけ、理解している。国会・内閣・司法・地方自治についての諸資料を収集し、資料から課題を読み取り、政治・統治の現状や多様な見方を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 立法や行政、財政の課題について、幸福、正義、公正の観点から考察し、判断している。司法や国民の政治参加について、幸福、正義、公正の観点から考察して判断している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 立法、行政、司法、地方自治について自己の生活と結びつけて考察しようとしている。社会における課題を解決するため、政治に参加する意欲を高めている。</p>	<p>・国民主権を中心とした立法、行政、司法のしくみと課題を理解させ、制度や機構の背景にある民主政治の考え方について多面的・多角的に考察させる。・司法制度のしくみと課題を理解させ、よりよい司法の実現のために、国民が司法に参加する意義を考察させる。・地方自治のしくみを理解させ、地方自治が民主政治の基盤となっていること、地域の課題について考察させる。</p>	<p>【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ケーススタディ、新聞などからの読み取り、ワークシート、定期テスト【主体的な態度】 ディスカッション、プレゼンテーション、レポート</p>					5
	<p>【知識及び技能】 国際社会の基本的な考え方や国際連合などについての諸資料を活用して、国際社会のしくみを調べることができる。国際法の役割、国際連合のしくみや機能、人権に関する諸条約などについての知識を身につけ、理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 幸福、正義、公正の観点から、国際社会における諸問題への見解を表現し、多様な意見を踏まえて判断している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 国際社会における主権国家間の関係に関心をもち、国際社会の動向を主体的に考察しようとしている。</p>	<p>・国際社会の変遷、人権、国家主権、国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割について理解させ、国際社会が抱える課題を考察させる。・冷戦後の国際社会の変化、冷戦後の軍縮や核兵器廃絶などに関する国際的な取り組みについて理解させ、グローバル化が進展する国際社会の在り方や課題を多面的・多角的に考察する。</p>	<p>【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ケーススタディ、新聞などからの読み取り、ワークシート、定期テスト【主体的な態度】 ディスカッション、プレゼンテーション、レポート</p>					6
	<p>【知識及び技能】 戦後の国際政治に関する諸資料を収集し、分析することで、国際政治の変化を理解することに活用できる。戦後の国際政治の動きや現代の国際紛争、資源、兵器などの課題や安全保障問題などについて基本的な知識を身につけ、今日の国際情勢について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 戦後の国際政治の動向を考察し、諸国民の幸福、正義、公正の観点から、国際問題について見解を表現し、多様な意見を踏まえて判断している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 戦後の国際政治の動向に関心をもち、日本の在り方と結びつけて考察しようとしている。</p>	<p>・現代の国際紛争の諸要因について理解させ、その対立を解消するために、多文化共生の観点から調整し協調することが国際政治に必要とされることを理解させる。・平和主義と国際協調の立場から、日本の安全保障や国際貢献の在り方について多面的・多角的に考察させる。</p>	<p>【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ケーススタディ、新聞などからの読み取り、ワークシート、定期テスト【主体的な態度】 ディスカッション、プレゼンテーション、レポート</p>					4
	<p>定期考査</p>							1

<p>【知識及び技能】 私たちの生活における経済の役割について、学習に役立つ情報を様々なメディアから適切に選択し、特に消費者の権利と責任・契約・職業選択・マクロ経済などの項目について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 私たちの生活における経済の役割について、幸福、正義、公正の観点から考察し、多様な意見を踏まえて、自己の考えを適切に表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 私たちの生活における経済の役割について、その社会に生きる自らの考えに近づけて考察しようとしている。</p>	<p>・私たちの生活における経済の役割について理解させる。その際、消費者の権利と責任、職業選択、マクロ経済などについての基本的な知識を身につけさせ、経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察させる。</p>	<p>【知識・技能】【思考・判断・表現】 ケーススタディ、新聞などからの読み取り、ワークシート、定期テスト【主体的な態度】 ディスカッション、プレゼンテーション、レポート</p>	○	○	○	3
<p>【知識及び技能】 現代の市場、金融、財政などの経済活動の在り方について、学習に役立つ情報を様々なメディアから適切に選択し、効果的に活用している。企業や雇用、社会保障などの問題に関する諸資料を分析し、効果的に活用している。市場、金融、財政のしくみについて基本的な知識を身につけ、市場経済の課題について理解している。企業や雇用、社会保障などの現状について知識を身につけ、その課題について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 現代の市場、金融、財政の課題について、また、日本の企業、雇用、社会保障などの問題について、幸福、正義、公正の観点から考察し、多様な意見を踏まえて、自己の考えを適切に表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代の市場、金融、財政の動向に関心を高め、自己の生き方に結びつけて考察しようとしている。企業、雇用、社会保障などの問題と自己の生き方を関連させて考察しようとしている。</p>	<p>・市場経済の機能、金融や財政のしくみについて理解させ、その役割と課題について多面的・多角的に考察させる。・現代の企業のしくみと特色を理解させ、企業統治や企業の社会的責任などについて考察させる。・日本経済のあゆみを通して、公害、環境保全、雇用と労働問題、少子高齢化における社会保障の課題について、社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、多面的・多角的に考察させる。</p>	<p>【知識・技能】【思考・判断・表現】 ケーススタディ、新聞などからの読み取り、ワークシート、定期テスト【主体的な態度】 ディスカッション、プレゼンテーション、レポート</p>	○	○	○	6
<p>【知識及び技能】 国際経済に関する諸資料を様々なメディアから収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して、効果的に活用している。国際経済についての基本的な知識を身につけ、その課題について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 国際経済に関する諸問題や、国際的な経済協力の必要性、国際社会における日本の経済的役割について、幸福、正義、公正の観点から多面的・多角的に考察し、適切に表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 国際経済に関する諸問題に関心を高め、国際的な経済協力の必要性や国際社会における日本の経済的役割について考察しようとしている。</p>	<p>・国際経済についての基本的な知識を身につけさせ、グローバル化する経済が抱える課題について多面的・多角的に考察させる。また、その課題解決には国際協調や自他の文化や宗教などを尊重する相互理解と寛容の態度が必要であることを理解させる。</p>	<p>【知識・技能】【思考・判断・表現】 ケーススタディ、新聞などからの読み取り、ワークシート、定期テスト【主体的な態度】 ディスカッション、プレゼンテーション、レポート</p>	○	○	○	3
<p>【知識及び技能】 無し</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 これまでの学習をもとに、現代社会の課題である、人工知能・環境・資源・少子高齢化・地域社会について、幸福、正義、公正の観点から課題を見出し、その解決策を多面的・多角的に考察し、これまでの学習内容を効果的に活用して表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代社会の課題について、これまでの学習内容を効果的に活用して考察しようとしている。持続可能な社会づくりを担う、自立した主体として、主体的に社会に参画しようとしている。</p>	<p>・これまでの学習を基礎に、人工知能・環境・資源・少子高齢化・地域社会について、「幸福」「正義」「公正」などの観点から課題を見出し、その解決策を多面的・多角的に考察させる。・持続可能な社会づくりを担う、公共の精神を持った自立した主体として、主体的に社会に参画し、ともに生きる社会を築くという姿勢を身につけさせる。</p>	<p>【知識・技能】【思考・判断・表現】 ケーススタディ、新聞などからの読み取り、ワークシート、定期テスト【主体的な態度】 ディスカッション、プレゼンテーション、レポート</p>		○	○	7
定期考査			○	○		1 合計 70

高等学校 令和5年度（1学年用）教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科：地理歴史

科目：歴史総合

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

使用教科書：（東京書籍『新選 歴史総合』）

教科 地理歴史

の目標：

- 【知識及び技能】近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に活用し、近現代の歴史の変化に関わる事象の意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 【学びに向かう力、人間性等】

科目 歴史総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。 ・諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実をもとに多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力がある。	・よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚、国民主権を担う公民として各国民が協力し合うことの大切さの自覚などを深めている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
【知識及び技能】18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、18世紀のアジアの経済と社会を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】近代化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、中学校までの学習も振り返りながら	①18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 ②産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、工業化と世界市場の形成を理解する。	【知識・技能】【思考・判断・表現】教科書・資料集などからの読み取り、ワークシート、小テスト【主体的な態度】ディスカッション、ワークシート、レポート	○	○	○	10
【知識及び技能】①18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、立憲体制と国民国家の形成を理解させる。 ②列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】①国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 ②帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】近代化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、中学校までの学習も振り返りながら	①国民国家の形成の背景や影響などに着目して、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、立憲体制と国民国家の形成を理解する。 ②帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。	【知識・技能】【思考・判断・表現】教科書・資料集などからの読み取り、ワークシート、小テスト【主体的な態度】ディスカッション、ワークシート、レポート	○	○	○	1
【知識及び技能】①18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、立憲体制と国民国家の形成を理解させる。 ②列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】①国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 ②帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】近代化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、中学校までの学習も振り返りながら	①国民国家の形成の背景や影響などに着目して、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、立憲体制と国民国家の形成を理解する。 ②帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。	【知識・技能】【思考・判断・表現】教科書・資料集などからの読み取り、ワークシート、小テスト【主体的な態度】ディスカッション、ワークシート、レポート	○	○	○	12
【知識及び技能】①第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴェト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、第一次世界大戦の背景や影響などに着目して、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジアおよび太平洋地域の関係や国際協定制	①第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景や影響などに着目して、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジアおよび太平洋地域の関係や国際協定制	【知識・技能】【思考・判断・表現】教科書・資料集などからの読み取り、ワークシート、小テスト【主体的な態度】ディスカッション、ワークシート、レポート	○	○		1

2 学 期	<p>史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解させる。</p> <p>②大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、大衆社会の形成を定期調査</p>	<p>の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。</p> <p>②第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する</p>	○	○	○	12	
	<p>【知識及び技能】①世界恐慌、ファシズムの伸長、日本の対外政策などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、国際協調体制の動揺を理解させる。</p> <p>②第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】①経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>②第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学定期調査</p>	<p>①経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、国際協調体制の動揺を理解する。</p> <p>②第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。</p>	【知識・技能】【思考・判断・表現】教科書・資料集などからの読み取り、ワークシート、小テスト【主体的な態度】ディスカッション、ワークシート、レポート	○	○		1
				○	○	○	14
3 学 期	<p>【知識及び技能】①脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、国際政治の変容を理解させる。</p> <p>②西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】①地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>②冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現させる。</p>	<p>①地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、国際政治の変容を理解する。</p> <p>②冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。</p>	【知識・技能】【思考・判断・表現】教科書・資料集などからの読み取り、ワークシート、小テスト【主体的な態度】ディスカッション、ワークシート、レポート	○	○	○	17
				○	○		1

<p>【学びに向かう力、人間性等】グローバル化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとさせる。</p>						
<p>定期考査</p>			○	○		1 70

# 高等学校 令和6年度（1学年） 教科 数学 科目 数学A

教科： 数学 科目： 数学A 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書： （ 高等学校 数学A（数研出版） ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理などを体系的に理解し、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して論理的に考察する、思考の過程を統合的・発展的に考察して表現する力を身に付ける。

【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。

科目 数学A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念を理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係、図形の性質、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などから事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりから数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする、問題解決の過程を振り返って考察を深める、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
				○	○	○	
1 学 期	4 月  場合の数 【知識及び技能】場合の数を、公式を使って求める方法について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察すること。 【主体的に学習に取り組む態度】場合の数の求め方の違いを考察して興味・関心を持ち、適切に求められるようにする。	・指導事項 集合の要素の個数 場合の数 ・教材 教科書、問題集、参考書等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 定期考査、課題提出 等 【思考・判断・表現】 定期考査、課題提出 等 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出、授業の取り組み 等	○	○	○	4
	5 月  場合の数 【知識及び技能】場合の数を、公式を使って求める方法について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察すること。 【主体的に学習に取り組む態度】場合の数の求め方の違いを考察して興味・関心を持ち、適切に求められるようにする。	・指導事項 順列、組合せ ・教材 教科書、問題集、参考書等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 定期考査、課題提出 等 【思考・判断・表現】 定期考査、課題提出 等 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出、授業の取り組み 等	○	○	○	6
	6 月  確率 【知識及び技能】確率の意味や基本的な法則について理解を深め、事象の確率や期待値を求めること。 【思考力、判断力、表現力等】確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察すること。 【主体的に学習に取り組む態度】確率の求め方の違いを考察して興味・関心を持ち、適切に求められるようにする。	・指導事項 事象と確率 確率の基本的性質 ・教材 教科書、問題集、参考書等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 定期考査、課題提出 等 【思考・判断・表現】 定期考査、課題提出 等 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出、授業の取り組み 等	○	○	○	6
	7 月  確率 【知識及び技能】確率の意味や基本的な法則について理解を深め、事象の確率や期待値を求めること。 【思考力、判断力、表現力等】確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察すること。 【主体的に学習に取り組む態度】確率の求め方の違いを考察して興味・関心を持ち、適切に求められるようにする。	・指導事項 独立な試行の確率 条件付き確率、期待値 ・教材 教科書、問題集、参考書等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 定期考査、課題提出 等 【思考・判断・表現】 定期考査、課題提出 等 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出、授業の取り組み 等	○	○	○	6
	9 月  平面図形 【知識及び技能】三角形、円などの基本図形に関する性質について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】図形の新たな性質を見出し、その性質を論理的に考察して説明できること。 【主体的に学習に取り組む態度】複雑な図形において、性質の利用方法に関して興味・関心を持ち、適切に求められるようにする。	・指導事項 三角形の辺の比 三角形の外心・内心・重心 ・教材 教科書、問題集、参考書等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 定期考査、課題提出 等 【思考・判断・表現】 定期考査、課題提出 等 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出、授業の取り組み 等	○	○	○	8
	1 0 月  平面図形 【知識及び技能】三角形、円などの基本図形に関する性質について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】図形の新たな性質を見出し、その性質を論理的に考察して説明できること。 【主体的に学習に取り組む態度】複雑な図形において、性質の利用方法に関して興味・関心を持ち、適切に求められるようにする。	・指導事項 チェバの定理 メネラウスの定理 ・教材 教科書、問題集、参考書等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 定期考査、課題提出 等 【思考・判断・表現】 定期考査、課題提出 等 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出、授業の取り組み 等	○	○	○	8
2 学 期	1 1 月  平面図形 【知識及び技能】三角形、円などの基本図形に関する性質について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】図形の新たな性質を見出し、その性質を論理的に考察して説明できること。 【主体的に学習に取り組む態度】複雑な図形において、性質の利用方法に関して興味・関心を持ち、適切に求められるようにする。	・指導事項 円に内接する四角形 円と直線、2つの円、作図 ・教材 教科書、問題集、参考書等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 定期考査、課題提出 等 【思考・判断・表現】 定期考査、課題提出 等 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出、授業の取り組み 等	○	○	○	8
	1 2 月  空間図形 【知識及び技能】空間図形に関する基本的な性質について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】図形の新たな性質を見出し、その性質を論理的に考察して説明できること。 【主体的に学習に取り組む態度】複雑な図形において、性質の利用方法に関して興味・関心を持ち、適切に求められるようにする。	・指導事項 直線と平面 空間図形と多面体 ・教材 教科書、問題集、参考書等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 定期考査、課題提出 等 【思考・判断・表現】 定期考査、課題提出 等 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出、授業の取り組み 等	○	○	○	6



	定期考查				○	○		
--	------	--	--	--	---	---	--	--



# 高等学校 令和6年度（1学年）教科 数学 科目 数学 I

教科： 数学 科目： 数学 I 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書： ( 高等学校 数学 I (数研出版) )

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理などを体系的に理解し、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して論理的に考察する、思考の過程を統合的・発展的に考察して表現する力を身に付ける。

【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に裏形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	4 月 数と式 【知識及び技能】 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。 定期考査	・指導事項 因数分解 実数 1次不等式 ・教材 教科書、問題集、参考書 一人1台端末の活用等 ポートフォリオ作成等	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	8
	5 月 数と式 【知識及び技能】 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。 定期考査	・指導事項 因数分解 実数 1次不等式 ・教材 教科書、問題集、参考書 一人1台端末の活用等 ポートフォリオ作成等	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	10
	6 月 命題と証明 【知識及び技能】 集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明すること。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。 定期考査	・指導事項 命題と証明 命題と条件 ・教材 教科書、問題集、参考書等 一人1台端末の活用等 ポートフォリオ作成等	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	10
	7 月 命題と証明 【知識及び技能】 集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明すること。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。 定期考査	・指導事項 命題と証明 命題と条件 ・教材 教科書、問題集、参考書等 一人1台端末の活用等 ポートフォリオ作成等	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	8
2 学 期	9 月 二次関数 【知識及び技能】 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 二次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかきなどして多面的に考察すること。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。 定期考査	・指導事項 関数とグラフ 2次関数のグラフ ・教材 教科書、問題集、参考書等 一人1台端末の活用等 ポートフォリオ作成 グラフ描画アプリの活用等	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	10
	1 0 月 二次関数 【知識及び技能】 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 二次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかきなどして多面的に考察すること。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。 定期考査	・指導事項 関数とグラフ 2次関数のグラフ ・教材 教科書、問題集、参考書等 一人1台端末の活用等 ポートフォリオ作成 グラフ描画アプリの活用等	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	11
	1 1 月 二次関数 【知識及び技能】 二次関数の最大値や最小値を求めること。 【思考力、判断力、表現力等】 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。 定期考査	・指導事項 2次関数のグラフ 2次関数の最大・最小 ・教材 教科書、問題集、参考書等 一人1台端末の活用等 ポートフォリオ作成 グラフ描画アプリの活用等	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	11
	1 2 月 二次関数 【知識及び技能】 二次関数の最大値や最小値を求めること。 【思考力、判断力、表現力等】 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。 定期考査	・指導事項 2次関数のグラフ 2次関数の最大・最小 ・教材 教科書、問題集、参考書等 一人1台端末の活用等 ポートフォリオ作成 グラフ描画アプリの活用等	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	10





高等学校 令和6年度（1学年用） 教科

保健体育 科目 体育

教科： 保健体育 科目： 体育

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（ 50 大修館 保体701 現代高等保健体育 ）

教科 保健体育

の目標：

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解すると共に、技能を身につけるよう

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活

科目 体育

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することが出来るようになるため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
<p>A 単元 陸上競技</p> <p>【知識・技能】 スタート、中間走、フィニッシュの知識を理解した上でパフォーマンスをし、好タイムを残すことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 自分にあったクラウチングスタートや課題解決に向けた練習方法を選択することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自身の課題を見つけ、改善するために練習に取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○変形ダッシュ</li> <li>・座った状態から立ち上がってダッシュ</li> <li>・寝た状態から立ち上がってダッシュなど</li> <li>○クラウチングスタートについて</li> <li>・個人にあったスタンスの確認</li> <li>○100mタイム計測</li> <li>○200mタイム計測</li> <li>○ハードルの準備の仕方確</li> <li>○第一ハードルまで奇数歩で行けるように調整する</li> <li>○ハードル間を3歩又は5歩でいけるようにする</li> <li>○踏切位置、抜き足の姿勢を練習する</li> <li>○第一ハードルまで奇数歩で行けるように調整する</li> <li>○ハードル間を3歩又は5歩でいけるようにする</li> <li>○踏切位置、抜き足の姿勢を練習する</li> <li>○自分にあった距離を確認する</li> <li>○トップスピードでハードルを跳ぶ感覚を練習する</li> <li>○記録会のやり方を確認する</li> <li>○記録会</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①知識の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。</li> <li>②中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることができる</li> <li>③スピードを維持した走りからハードルを低く越すことができる。</li> </ol> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</li> </ol> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①意欲的に練習に取り組むことができる</li> <li>②周囲と協力して練習したり記録会の運営をすることができる。</li> </ol>	○	○	○	12
<p>B 単元 バレーボール</p> <p>【知識及び技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって、空いた場所をめぐる攻防を展開することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人でのボール操作の練習</li> <li>・対人でのボール操作の練習</li> <li>・動きながらのボール操作の練習</li> <li>・サーブについてのルールの確認</li> <li>・サーブ練習</li> <li>・サーブカット（レシーブ）の練習</li> <li>・スパイクの仕方の確認と練習</li> <li>・キャッチバレーを通して3段攻撃の仕方を確認し、空いたスペースに入り込む動きの練習をする</li> <li>・キャッチバレーでのルールを変更し、キャッチ後に動ける制限をしてより、実践に近い3段攻撃を行う。</li> <li>・ローテーションの仕方の説明</li> <li>・ゲームの中で3段攻撃を意識する</li> <li>・ブロックについてのルールを確認する</li> <li>・攻防の中でチャンスがあれば2アタックが有効であることを確認し、練習する</li> <li>・審判の仕方について確認する</li> <li>・チームで作戦を立ててゲームをする。</li> <li>・自分たちで役割を決め、審判をする。</li> <li>・チームの改善点を見つけ、練習をして試合に活かせるようにする。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①空いた場所をめぐる攻防を展開するためのボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きができる。</li> <li>②ゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを身に付けている。</li> <li>③試合の運営の仕方を知っている</li> </ol> <p>【思考・判断・表現】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技術を身に付けるための運動の仕方のポイントを見つけている。</li> <li>②自己やチームの課題を見つけている。</li> </ol> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①種目の練習に積極的に取り組もうとしている。</li> <li>②作戦などの話し合いなどについて自分の考えを話している。</li> <li>③仲間の学習を援助しようとしている。</li> <li>④試合に必要な準備を主体的に取り組んでいる。</li> </ol>	○	○	○	12

1 学 期	<p>C 単元 ダンス</p> <p>【知識及び技能】 表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方に変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本ステップ練習</li> <li>即興表現</li> <li>発表および鑑賞、評価</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①身体運動や作品創作に用いられる名称や用語を理解している。</li> <li>②テーマを選んで即興的に表現できる。さらに主要場面を中心としたひと流れの動きで表現できる。</li> <li>③変化や起伏のある「はじめ-なか-おわり」の構成で簡単な作品にまとめて踊る工夫ができる。</li> </ol> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①表したいテーマにふさわしいイメージや、踊りの特徴を捉えた表現の仕方を見付けることができる。</li> <li>②よい動きや表現と自己や仲間の動きや表現を比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えることができる。</li> <li>③ダンスの学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けられる。</li> </ol> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①ダンスの学習に自主的に取り組もうとしている。</li> <li>②仲間に課題を伝え合ったり教え合ったりして、互いに助け合い教え合おうとしている。</li> <li>③作品創作などについての話合いに貢献しようとしている。</li> </ol>	○	○	○
	<p>D 単元 剣道</p> <p>【知識及び技能】 技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方や、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防ができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 剣道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>礼法指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3つの礼</li> <li>座礼</li> <li>防具の付け方</li> <li>竹刀の持ち方</li> <li>中絶の構え</li> <li>足さばきについて（4種類）</li> <li>打ち方と打たせ方確認</li> </ul> <p>素振り、空間打突</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>約束練習</li> </ul> <p>リズムに乗って正面、小手、胴を6本ずつ打ち合わせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>間合（相手と自分の距離）遠間、一足一刃の間合について説明する。</li> <li>正面、小手、胴の打たせ方確認</li> <li>正面の段階的な打ち方</li> <li>小手の段階的な打ち方</li> <li>胴の段階的な打ち方</li> <li>約束練習</li> </ul> <p>遠間→1歩進んで攻める→一足一刃の間→打突→残心</p>	<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①武道は対人的な技能を基にした運動で、我が国固有の文化であることについて、言ったり書き出したりしている。</li> <li>②武道には技能の習得を通じて、人間形成を図るという伝統的な考え方がることについて、言ったり書き出したりしている。</li> <li>③構えで、相手の動きの変化に応じた自然体で中段に構えることができる。</li> <li>④体さばきでは、相手の動きの変化に応じて体の移動を行うことができる。</li> <li>⑤基本打突の仕方と受け方では、体さばきや竹刀操作を用いて打ったり、応じ技へ発展するよう受けたりすることができる。</li> <li>⑥最初の面打ちに相手に対応したとき、隙ができた面を打つことができる。（面一面）</li> <li>⑦相手と接近した状態にあるとき隙ができた面を退きながら打つことができる。（引き面）</li> <li>⑧相手が打とうとして竹刀の先が上下に動いたとき、隙ができた面を打つことができる。（出ばな面）</li> <li>⑨相手の竹刀を払ったとき、隙ができた面を打つことができる。（払い面）</li> </ol> <p>【思考・判断・表現】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①見取り稽古などから、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、練習の成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。</li> <li>②自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。</li> <li>③健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。</li> <li>④相手を尊重するなどの伝統的な行動をする場面、よりよい所作について、自己や仲間の活動を振り返っている。</li> <li>⑤体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに武道を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。</li> <li>⑥武道の学習成果を踏まえて、自己に適した「する・みる・支える・知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けることができる。</li> </ol> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①武道の学習に自主的に取り組もうとしている。</li> <li>②相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。</li> <li>③仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たそうとしている。</li> <li>④一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。</li> <li>⑤健康・安全を確保している。</li> </ol>	○	○	○
	<p>A 単元 ソフトボール</p> <p>【知識及び技能】 安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作、連携した守備などによって攻防を展開することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>用具の確認</li> <li>キャッチボール</li> <li>ゴロ、フライ、バウンドなど</li> <li>トスバッティング</li> <li>ピッチャーにワンバウンドで返す</li> <li>ハーフバッティング</li> <li>50～80%の力でセンター方向に打つ</li> <li>シートノック</li> <li>サードで捕球してファーストへ送球</li> <li>シートバッティング</li> </ul> <p>打者は試合を想定して進塁打やゴロ打ちやバントを行う。</p> <p>守備者はボール捕球後、アウトゾーンまでボールを送球する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ケースノック</li> <li>チーム別練習</li> <li>タイブレーク方式ありで試合をする</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①技術の名称や行い方について学習した内容を挙げている。</li> <li>②攻防を展開するための基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などの動きができる。</li> <li>③攻防を展開するための安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などの動きができる。</li> </ol> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選んでいく。</li> <li>②技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。</li> <li>③話し合いの場面で、合意を形成するための適切なかわり方を見つけている。</li> </ol> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①仲間とともに協力しながら活動し、ソフトボールの楽しさや喜びを自主的に味わおうとしている。</li> <li>②チーム内での自己の役割を責任をもって果たそうとしている。</li> <li>③戦術や仲間へのアドバイスを自主的に行おうとしている。</li> </ol>	○	○	○

<p>B 単元 バドミントン</p> <p>【知識及び技能】 個人的技能やペアとの連携能力を高め、自分やペアの能力に応じたゲームができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分やペアの能力に適した課題を設定するとともに、その解決を目指して練習方法を工夫し、技能を生かした作戦を立て、ゲームができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 活動場所や用具などの安全を確認し、まわりを確認してラケットを振るなど、健康・安全に留意して練習やゲームを行う態度を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シャトルすくい</li> <li>・フォアハンドでシャトル上げ打ち</li> <li>・バックハンドでシャトル上げ打ち</li> <li>・フォアとバックを交互にシャトル打ち</li> <li>・ネットの貼り方を説明、練習</li> <li>・サーブについてのルール確認、練習</li> <li>・ハイクリアーの練習</li> <li>・ドライブの習得</li> <li>・ショット別ラリー</li> <li>・ドロップショットの習得</li> <li>・ヘアピンの習得</li> <li>・ショット別ラリー</li> <li>・シングルスゲームのルール、運営の仕方を確認</li> <li>・ダブルスゲームのルール、運営の仕方を確認</li> <li>・試合運営の仕方を確認</li> <li>・リーグ戦</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①用具の準備、準備運動、練習の仕方やバドミントンの用語を知っている</li> <li>②個人的技能の構成と自分のレベル、それらを高めるための練習の仕方を把握している</li> <li>③各種フライトやサーブ、レシーブなどの個人的技能を身に付けている</li> </ol> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①自分やグループの能力に応じて適切にグループの課題を見つけ、計画的な練習の仕方を工夫している</li> <li>②試合の結果や対戦相手を分析し、自分(ペア)の技能程度に応じた作戦を立てようとする</li> </ol> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①自分の技能を高めるためにすすんで練習に取り組もうとしている</li> <li>②課題を解決するための話し合いや作戦などについての話し合いに貢献しようとしている</li> </ol>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>14</p>
<p>C 単元 ダンス</p> <p>【知識及び技能】 表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方を変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめた踊りすることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話し合いに貢献しようとするなど、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本ステップ練習</li> <li>・即興表現</li> <li>・発表および鑑賞、評価</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①身体運動や作品創作に用いられる名称や用語を理解している</li> <li>②テーマを選んで即興的に表現できる。さらに主要場面を中心としたひと流れの動きで表現できる</li> <li>③変化や起伏のある「はじめ-なか-おわり」の構成で簡単な作品にまとめて踊る工夫ができる</li> </ol> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①表したいテーマにふさわしいイメージや、踊りの特徴を捉えた表現の仕方を見付けることができる</li> <li>②よい動きや表現と自己や仲間の動きや表現を比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えることができる</li> <li>③ダンスの学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けられる</li> </ol> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①ダンスの学習に自主的に取り組もうとしている</li> <li>②仲間に課題を伝え合ったり教え合ったりして、互いに助け合い教え合おうとしている</li> <li>③作品創作などについての話し合いに貢献しようとしている</li> </ol>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>14</p>
<p>D 単元 剣道</p> <p>【知識及び技能】 技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防ができるようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに自己の考えたことを他者に伝えることができるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 剣道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとし、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習練習：基本となる技の段階的練習</li> <li>・技のできばえを競う判定試合</li> <li>☆有効打突の条件：①気…気迫のある大きな声②剣…打突部位を打突部で刃筋正しく打つ③体…体さばき、足さばき、姿勢④残心…打突後の身構え、気構え</li> <li>連続技(小手→面)</li> <li>打ち方と打たせ方</li> <li>・技のできばえを競う判定試合</li> <li>・自由練習</li> <li>・技のできばえを競う判定試合</li> <li>・グループ別約束練習</li> <li>正面、小手、胴、小手→面各2本</li> <li>面、鏝割り合い引き胴3本</li> <li>面抜き胴3本</li> <li>・ポイント制の試合</li> <li>礼→はじめ→判定→礼→評価</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①武道は対人的な技能を基にした運動で、我が国固有の文化であることについて、言ったり書き出したりしている</li> <li>②武道には技能の習得を通じて、人間形成を図るという伝統的な考え方があることについて、言ったり書き出したりしている</li> <li>③構えで、相手の動きの変化に応じた自然体で中段に構えることができる</li> <li>④体さばきでは、相手の動きの変化に応じて体の移動を行うことができる</li> <li>⑤基本打突の仕方と受け方では、体さばきや竹刀操作を用いて打ったり、応じ技へ発展するよう受けたりすることができる</li> <li>⑥最初の面打ちに相手に対応したとき、隙ができた面を打つことができる(面→面)</li> <li>⑦相手と接近した状態にあるとき隙ができた面を退きながら打つことができる。(引き面)</li> <li>⑧相手が打とうとして竹刀の先が上下に動いたとき、隙ができた面を打つことができる。(出ばな面)</li> <li>⑨相手の竹刀を払ったとき、隙ができた面を打つことができる。(払い面)</li> </ol> <p>【思考・判断・表現】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①見取り稽古などから、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、練習の成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている</li> <li>②自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている</li> <li>③健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている</li> <li>④相手を尊重するなどの伝統的な行動をする場面、よりよい所作について、自己や仲間の活動を振り返っている</li> <li>⑤体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに武道を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている</li> <li>⑥武道の学習成果を踏まえて、自己に適した「する・みる・支える・知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けることができる</li> </ol> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①武道の学習に自主的に取り組もうとしている</li> <li>②相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている</li> <li>③仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たそうとしている</li> <li>④一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている</li> <li>⑤健康・安全を確保している</li> </ol>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>14</p>



3学期	<p>A 単元 サッカー</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、協議会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。サッカーは状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、合意形成に貢献しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マーカーやコーン、ラダーなどを使ったステップワークのトレーニング</li> <li>・基礎的な対面パス</li> <li>・コンドリブル</li> <li>・ポストシュート</li> <li>・センタリングシュート</li> <li>・DFを置いた状態でオフサイドルール適用のミニゲーム</li> <li>・コーンを置いた状態での走りこみスクエアパス</li> <li>・タッチ制限ありのミニゲーム</li> <li>・オフサイドやバックパスなど、細かいルールの再確認</li> <li>・主審、副審の動作について</li> <li>・チームの課題に応じた練習</li> <li>・チームに分かれゲーム形式。試合を重ねる中で相手に応じた作戦を考えていく。</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出したりしている。</li> <li>・学校で行う球技は近代になって開発され、今日では、オリンピック・パラリンピック競技大会においても主要な競技として行われていることについて、言ったり書き出したりしている。</li> <li>・球技の各型の各種目において用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。</li> <li>・対戦相手との競争において、技能の程度に応じた作戦や戦術を選ぶことが有効であることについて、学習した具体例を挙げている。</li> <li>・球技は、それぞれの型や運動種目によって主として高まる体力要素が異なることについて、学習した具体例を挙げている。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。</li> <li>・提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいく。</li> <li>・学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。</li> <li>・練習やゲームの場面で、最善を尽くす、フェアなプレイなどのよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。</li> <li>・仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。</li> <li>・仲間と話し合う場面で、提示された参加の仕方に当てはめ、チームへの関わり方を見付けている。</li> <li>・体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を見付け、仲間に伝えている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・球技の学習に積極的に取り組もうとしている。</li> <li>・マナーを守ったり相手の健康を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。</li> <li>・作戦などについての話し合いに参加しようとしている。</li> <li>・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを認めようとしている。</li> <li>・練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。</li> <li>・健康・安全に留意している。</li> </ul>			14
	<p>B 単元 バスケットボール</p> <p>【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開できるようにする</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動の観察などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとするなど、自己の責任を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとするなどや健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チェストパス、バウンズパスの練習</li> <li>・スクエアパス</li> <li>・2ボールパッシング</li> <li>・1ボールハンドリング</li> <li>・2ボールハンドリング</li> <li>・フォローアップシュート：30秒間でゴール下シュートを交互に打つ</li> <li>・基本のレイアップシュートの練習</li> <li>・様々なステップを使用したレイアップシュートの練習</li> <li>・アウトナンバーの攻め方を確認して、練習</li> <li>・ドリブルなしの3対3、4対4、5対5を通して、パスランを学び、空いたスペースに飛び込む動きを習得する</li> <li>・スクリーンプレーの仕方とルールを確認する</li> <li>・2対2の練習でスクリーンプレーを練習する</li> <li>・チームの課題に応じた練習をする</li> <li>・ゲーム運営</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>②ゴール前での攻防を展開するためのボール操作と空間に走りこむなどの動きができる。</li> <li>③ゴール前への侵入などから攻防を展開するための安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きができる。</li> </ol> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選んでいく。</li> <li>②技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。</li> <li>③話し合いの場面で、合意を形成するための適切なかわり方を見つけている。</li> </ol> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①学習に自主的に取り組もうとしている。</li> <li>②作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。</li> </ol>			13
合計					105	

## 高等学校 令和6年度（1学年用）教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 1組～ 8組

使用教科書：（50 大修館 保体701 現代高等保健体育）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解すると共に、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	<p>A 「現代社会と健康」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康の考え方の変化について理解できる。</li> <li>健康を成り立たせている要因について理解できる。</li> <li>健康水準の変化とその背景について理解できる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな健康の考え方について例をあげて説明できる。</li> <li>健康を成り立たせている要因について例をあげて説明できる。</li> <li>健康問題について例をあげて説明できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</li> <li>健康問題の変化について意欲的に学ぶことができる。</li> </ul>	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康の考え方と成り立ち</li> <li>私たちの健康のすがた</li> <li>生活習慣病の予防と回復</li> <li>がんの原因と予防</li> <li>がんの治療と回復</li> <li>運動と健康</li> <li>食事と健康</li> <li>休養・睡眠と健康</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることについて理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>主要要因と環境要因が互いに影響し合いながら健康の成立に関わっていることについて理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して国民の健康課題について、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>健康水準、及び疾病構造の変化には、科学技術の発達、及び生活様式や労働形態を含む社会の状況が関わっていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</li> <li>国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理している。</li> <li>健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</li> <li>健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</li> <li>国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理している。</li> <li>健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○	11
	定期考査				○	○	
2 学期	<p>A 「現代社会と健康」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康の考え方の変化について理解できる。</li> <li>健康を成り立たせている要因について理解できる。</li> <li>健康水準の変化とその背景について理解できる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな健康の考え方について例をあげて説明できる。</li> <li>健康を成り立たせている要因について例をあげて説明できる。</li> <li>健康問題について例をあげて説明できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</li> <li>健康問題の変化について意欲的に学ぶことができる。</li> </ul>	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>喫煙と健康</li> <li>飲酒と健康</li> <li>薬物乱用と健康</li> <li>精神疾患の特徴</li> <li>精神疾患の予防</li> <li>精神疾患からの回復</li> <li>感染症の予防</li> <li>性感感染症・エイズとその予防</li> <li>健康に関する意思決定・行動選択</li> <li>健康に関する環境づくり</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを理解している。</li> <li>精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること。また、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○	13
	定期考査				○	○	

3 学 期	<p>B「安全な社会生活」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う</li> </ul>	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事故の現状と発生要因</li> <li>安全な社会の形成</li> <li>交通における安全</li> <li>応急手当の意義とその基本</li> <li>日常的な応急手当</li> <li>心肺蘇生法</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であること。また、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わること。交通事故には補償をはじめとした責任が生じること理解している。</li> <li>適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には、正しい手順や方法があること。また、応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があることを理解しているとともに、心肺蘇生法などの応急手当を適切に行う技能を身に付けている。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安全な社会生活についての学習に主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
							合計



2 学 期	<p>の特性と曲種に応じた発声との関わり、我が国や郷土の伝統音楽の種類と特徴について理化する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性や固有性について考え聴く。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 音楽の表現の多様性を捉え、日本民謡との比較を通して音楽文化の固有性、共通性を考える。</p>	<p>固有性について気付いたことや考えたことを述べ合い、理解を深める。</p> <p>【教材】 ・私たちの身近な国々の音楽 ・世界の様々な音楽の魅力 ・日本の民謡と芸能</p>			<p>【思】音色、速度、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性や固有性について考え聴いている。</p> <p>【態】世界の諸民族の様々な声の音楽から音楽の表現の多様性を捉え、日本民謡との比較を通して音楽文化の固有性、共通性を考えることに興味をもち、鑑賞に取り組んでいる。</p>	○	○	○	6	
	<p>「コード進行」をもとにメロディーをつくらう 一和音・和声</p> <p>【知識及び技能】 表したいイメージと関わらせて理解し、創意工夫を生かした創作表現をするために必要な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 どのように音楽をつくるかについて表現意図をもって創作する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 音を重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴に関心をもって取り組む。</p>	<p>【指導事項】 ・コードの構成音をもとに音の組み合わせ方やつなげ方を試しながら、自分の表したいイメージに合うメロディーをつくる。</p> <p>【教材】 ・主人は冷たい土の中に ・エーデルワイス</p> <p>一人一台端末を使用し、オンラインソフトウェアにて作成する。</p>			<p>【知】音を重ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について理解し、創意工夫を生かした創作表現をするために必要な技能、及び旋律をつくったり、つくった旋律に和音などを付けた音楽をつくったりする技能を身に付ける。</p> <p>【思】音色、リズム、旋律、テクスチャ、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもって創作している。</p> <p>【態】音を重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴に関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組んでいる。</p>	○	○	○	8	
	<p>実技試験 筆記試験</p>					○	○		2	
3 学 期	<p>響きの融合とその調和 一モーザルトの音楽</p> <p>【知識及び技能】 楽曲を成立させた時代の文化・社会などの状況を理解し、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聴く。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 表現されている音楽の背景にあるものを想像しながら楽曲を聴取する。</p>	<p>【指導事項】 ・作品を鑑賞したり、作曲家について調べたり、意見を交換したりしながら、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的、歴史的背景との関わりを理解する。</p> <p>【教材】 ・映画「アマデウス」 ・アヴェヴェルム・コルプス ・魔笛 ・レクイエム</p>		○	○	<p>【知】楽曲を成立させた時代の文化・社会などの状況を理解し、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。</p> <p>【思】音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聴いている。</p> <p>【態】表現されている音楽の背景にあるものを想像しながら楽曲を聴取している。</p>	○	○	○	6
	<p>歌詞に込められた主張を理解して歌ったり演奏したりしよう</p> <p>【知識及び技能】 様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解し、表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもつ。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ポピュラー音楽や音楽の著作権に関心を持ち、主体的・協働的に歌唱及び器楽の学習活動に取り組む。</p>	<p>【指導事項】 ・曲について調べたり意見を交換したりして曲想と音楽の構造や歌詞、文化的背景との関わりを理解するとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値を考える。</p> <p>・イメージをもって、音楽を形づくっている要素の働きや工夫などを試行錯誤しながら表現を工夫する。</p> <p>【教材】 ・Jpop 歌唱教材</p>		○	○	<p>【知】様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。</p> <p>【思】音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。</p> <p>【態】ポピュラー音楽や音楽の著作権に関心を持ち、主体的・協働的に歌唱及び器楽の学習活動に取り組んでいる。</p>	○	○	○	10
	<p>実技試験 筆記試験</p>			○			○	○		2 70

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

教科：芸術 科目：美術 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（美術1 光村図書）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
美術及び美術文化に対する知識を深め、創造的な美術の表現をするために必要な技能などの基礎・基本を基に、創意工夫した学習活動に取り組もうとすることができる。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の活動に取り組むとともに、主体的に造形活動や学習に対する態度を身に付ける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配当 時数
		絵・ 彫	デ 映	鑑 賞					
・オリエンテーション（1時間） 【知識及び技能】 年間指導計画、教材の揃え方、評価についての理解させる。	・年間指導計画、教材、評価について説明する。	○	○	○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・説明を聞く態度、授業に積極的に臨む姿勢が見られる。	○			1
絵画「クロッキー」 【知識及び技能】 よく見ること、よく観察することを心がけモデルの形態をよく捉える。 【思考力、判断力、表現力等】 線の太さや強弱を生かして自分なりの表現を探究する。 【学びに向かう力、人間性等】 成長する意欲をもって、よく取り組む。自分の良さを活かす表現方法を見出す	・鉛筆デッサンの基礎・基本 ・自画像制作を通して表現力の育成など <教材>鉛筆（HB～2B）、ワークシート、参考作品例 ・一人1台端末の活用 クロッキーの作品を写真にとり、授業内で他の生徒と共有する。	○		○	【知識・技能】 見ること意識しモデルをしっかり捉え、的確に線とらえることができる。 【思考・判断・表現】 線の太さや強弱で、自分なりの表現ができるよう工夫している。自分にあった表現を探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 描くために課題を設定し、より良い表現ができるよう意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	3
※定期考査は実施しない。 色彩演習 【知識・技能】 ワークシートに色の三属性を理解し彩色C52 【思考・判断・表現】 配色の効果を正しく理解し、適切な配色で表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 道具の準備や片付けを適切に行い、作品を汚さない等完成に配慮して制作することができる。	・色彩ワークシートにアクリル絵の具で彩色する <教材>ワークシート、アクリル絵の具セット、教科書 ・一人1台端末の活用 配色の見本をteamsで配布。	○	○	○	【知識・技能】 色の三属性を理解し正しく彩色できている。道具を適切に使い丁寧に塗ることができている 【思考・判断・表現】 配色の効果を正しく理解し、適切な配色で表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 道具の準備や片付けを適切に行い、作品を汚さない等完成に配慮して制作することができる。		○		4
デザイン「文化祭ポスター」をつくる。 【知識及び技能】 ポスターについて理解し、形や色彩がもたらす効果を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文化祭ポスターの効果を考え、形や色彩を工夫して、創意工夫した表自己評価票の作成を通して、自らが主体的な活動ができたか評価する。	・主題（テーマ）設定にあった構想（配色やレタリング）を練る。 ・アクリル絵の具や筆などの使い方と生かし方を考えさせる。 ・生活を楽しくするデザインの効果に気付く。 ・一人1台端末の活用 前単元で使った配色の資料を参考にする。資1学期を自己評価票で振り返り、各項目に答えながら自己評価する。	○		○	【知識・技能】 ポスターにおいて、形や色彩がもたらす効果を理解している。 【思考・判断・表現】 主題にあった配色やレタリングなど、考え制作に取り組んでいる。 教科書の作品から感じたこと・考え方を基に、自分らしい工夫をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自己評価を通して、自己の活動状況内容を確認できる。	○	○	○	15
立体演習「りんごを作る」 【知識及び技能】 立体を構成する面をよく観察する。色の三属性を意識しながら色彩を忠実に再現する。 【思考力、判断力、表現力】 空間との力の関係を表現する。細やかな形を丁寧に表現する。細やかな色の変化を適切に表現する。 【学びに向かう姿勢】 制作工程を見据え、計画的に取り組む（乾かしている時の課題への取り組みなど）。片付けを毎回適切に行い周囲の環境を整える。	・りんごの表面をジェップで整え、輪郭や面による立方体の形態を正確に把握するデッサンを学ぶ。 <教材>スタイロフォーム、ノコギリ、カッター、ヤスリ、教科書 ・一人1台端末の活用 前単元で使った配色の資料を参考にする。りんごの形態を写真を撮って記録する。	○		○	【知識・技能】 立体を面と塊として捉え、大きさや形を正確に捉えることができる。色の効果をよく理解し、本物の色彩に近づけるように工夫している。 【思考・判断・表現】 細やかな面のつながりをよく観察し、的確に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 毎回振り返りを記入し、問題点を見つけ、計画的に取り組む細やかな面のつながりをよく観察し、的確に表現することができる。	○	○	○	14
自由表現「詩の本を作る」 【知識及び技能】 モダンテクニックの効果や文様の多様性をよく理解し自分の表現に活かす。【思考力・判断力・表現力】 試作を重ね、言葉の意味に最も効果的な表現方法を見つけ、工夫する。 【学びに向かう姿勢】 制作ノートに記録し、計画的に制作をすすめる。	・選んだ詩のイメージを色彩、形、線のリズム、筆や表現方法の効果、そして配置をよく考えて構成する。 <教材>ホワイトブック、アクリル絵具、筆、ローラー、スタンプ、さまざまな素材、端末 ・モダンテクニックの効果を考えて、制作の幅を広げる。 ・効果的なレイアウトや文字の形を考える。 ・一人1台端末の活用 文字をタブレット端末で作成し、teams から	○	○	○	自由表現「詩の本を作る」 【知識及び技能】 モダンテクニックの効果や文様の多様性をよく理解し自分の表現に活かすことができる。【思考力・判断力・表現力】 試作を重ね、言葉の意味に最も効果的な表現方法を見つけ、工夫している。 【学びに向かう姿勢】 制作ノートに記入し、問題点を見つけ、計画的に取り組もうとしている。	○	○	○	14

3 学 期	<p>20世紀「名作椅子のプロモーションデザインを考える」</p> <p>【知識及び技能】デザインについての知識を学び、デザインの良さを生かせる空間を適切に作る。【思考力・判断力・表現力】デザインの良さを生かせるような空間の表現と撮影方法を工夫する。</p> <p>【学習に向かう姿勢】制作ノートに記入し、問題点を見つけ、計画的に取り組む。</p>	<p>・名作椅子の模型からそのデザインの特長について考え、調べる。</p> <p>・調べたことを生かしてその椅子が効果的に撮影できるような空間を作る。</p> <p>・作った空間に椅子を配置し、写真で撮影する。撮影した画像に説明キャプションをつけて校内のwebで公開する。</p>	○	○	○	○	<p>20世紀「名作椅子のプロモーションデザインを考える」</p> <p>【知識及び技能】デザインについての知識を学び、デザインの良さを生かせる空間を適切に作っている。【思考力・判断力・表現力】デザインの良さを生かせるような空間の表現と撮影方法を工夫している。</p> <p>【学習に向かう姿勢】制作ノートに記入し、問題点を見つけ、計画的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	○	○	○	○	16
	<p>鑑賞「1年間を振り返る」</p> <p>【知識及び技能】これまで作った作品を振り返り言語にまとめる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】感想シートに、制作時の考え方や表現方法の変化の過程をまとめることができる。</p>	<p>・指導事項 自分の考え方・見方・制作への想いを簡潔にまとめる。</p> <p>・教材 感想記入カード</p>	○	○	○	○	<p>【知識及び技能】これまで作った作品を振り返り、自分の言葉でまとめようとしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】感想シートに、制作時の考え方や表現方法の変化の過程をまとめ、友人に説明することができる。</p>	○	○	○	○	○	○	○	○
														合計	70



高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科：外国語 科目：英語コミュニケーションⅠ 単位数：4 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

使用教科書：（CREATIVE ENGLISH COMMUNICATIONⅠ（第一学習社））

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】単元の内容の概要や要点を理解することができ、関連する事柄について英語でやり取りすることができる。

【思考力、判断力、表現力等】単元の内容に関連する事柄について理解を深め、考え、表現する。

【学びに向かう力、人間性等】単元の内容に関連する事柄について、自分に関連付けて考える。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
単元の内容に関連する事柄についての会話や説明を理解することができる。単元の内容に関連する事柄についての発表の概要や要点を理解することができる。単元の内容に関連する事柄についてやり取りすることができる。	絵や写真を見せながら単元の内容に関連する事柄について話したりプレゼンテーションをすることができる。単元の内容に関連する自分や自分の周りのことについて簡潔に書くことができる。	単元の内容に関連する事柄について、自分に関連付けて考え、これまでの人間の歩み、自分たちに今何ができるのか、将来の人生の選択などについて考えを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）					
1 学 期	Lesson 1 ＜題材内容とねらい＞ ・夢の実現に関する大谷翔平選手のメッセージを的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、自分自身の「目標達成シート」を書くことができる。 ＜文型・文法事項＞ ・to-不定詞、動名詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ＜五領域の知識・技能＞ ・日本語と英語の語順の違いに注意して、英文を理解することができる。	Hyper Listening Lesson 1 Warm-up Passage/New Words/Listening Hyper Listening Lesson 2 Key Ideas The Gist Think and Talk Grammar Comprehension Check Rapid Reading 第1回 Test Your Skills Language in Action Listening Tips Check Your Progress Rapid Reading 第2回	○	○	○	○	○	○	○	15
	Lesson 2 ＜題材内容とねらい＞ ・日本および世界の「弁当文化」についての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、コンテストに応募することを想定した弁当について説明することができる。 ＜文型・文法事項＞ ・現在完了形、分詞の形容詞用法について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ＜五領域の知識・技能＞ ・英語のリズムやイントネーションに注意して、英文を音読することができる。	Hyper Listening Lesson 3 Warm-up Passage/New Words/Listening Hyper Listening Lesson 4 Key Ideas The Gist Think and Talk Grammar Comprehension Check Rapid Reading 第3回 Test Your Skills Language in Action Listening Tips Check Your Progress Rapid Reading 第4回	○	○	○	○	○	○	○	15
	中間考査		○	○			○	○		1
	Lesson 3 ＜題材内容とねらい＞ ・携帯電話の発展についての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、未来の携帯電話を想像し、それについてプレゼンテーションをすることができる。 ＜文型・文法事項＞ ・現在完了進行形、関係代名詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ＜五領域の知識・技能＞ ・意味のまとまりに注意して、英文を理解することができる。	Hyper Listening Lesson 5 Warm-up Passage/New Words/Listening Hyper Listening Lesson 6 Key Ideas The Gist Think and Talk Grammar Comprehension Check Rapid Reading 第5回 Test Your Skills Language in Action Listening Tips Check Your Progress Rapid Reading 第6回	○	○	○	○	○	○	○	15
Lesson 4 ＜題材内容とねらい＞ ・絶滅危惧種の保護のあり方についての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、絶滅危惧種の保護を訴えるポスターを作り、それを説明することができる。 ＜文型・文法事項＞ ・助動詞+be+過去分詞、It seems that …について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ＜五領域の知識・技能＞ ・ディスコースマーカーに注意し 期末考査	Hyper Listening Lesson 7 Warm-up Passage/New Words/Listening Hyper Listening Lesson 8 Key Ideas The Gist Think and Talk Grammar Comprehension Check Rapid Reading 第7回 Test Your Skills Language in Action Listening Tips Check Your Progress Rapid Reading 第8,9回	○	○	○	○	○	○	○	15	
期末考査		○		○		○	○		1	





Lesson 9 ＜題材内容とねらい＞ ・将来の人間とAIのあるべき姿についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、人間とAIが共存する将来について説明することができる。 ＜文型・文法事項＞ ・分詞構文（現在分詞）、関係詞の非制限用法について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 ＜五領域の知識・技能＞ ・事実や情報をわかりやすく伝えるための表現に注意して、英文を	Hyper Listening Lesson 17 Warm-up Passage/New Words/Listening Hyper Listening Lesson 18 Key Ideas The Gist Think and Talk Grammar Comprehension Check Rapid Reading 第20回 Test Your Skills Language in Action Listening Tips Check Your Progress Rapid Reading 第21回	○ ○ ○ ○ ○		【知識・技能】 将来の人間とA Iのあるべき姿を理解することができる。将来の人間とA Iについての英文の概要や要点を理解することができる。将来の人間とA Iのあるべき姿についてやり取りすることができる。  【思考・判断・表現】 整理した内容を活用して、人間とA Iが共存する将来について説明することができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 教材類を積極的に活用し、主体的に表現活動を行う。	○ ○ ○ ○ ○	15
3 学 期  Optional Lesson ＜題材内容とねらい＞ ・ストーリーの展開を的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、ストーリーに関連する自分の考えを話すことができる。	Hyper Listening Lesson 19 Warm-up Passage/New Words/Listening Hyper Listening Lesson 120 Key Ideas The Gist Think and Talk Grammar Comprehension Check Rapid Reading 第22回 Test Your Skills Language in Action Listening Tips Check Your Progress Rapid Reading 第23回	○ ○ ○ ○ ○		【知識・技能】 金庫破りのJimmyのストーリーを理解することができる。金庫破りのJimmyのストーリーを理解することができる。金庫破りのJimmyのストーリーについてやり取りすることができる。  【思考・判断・表現】 整理した内容を活用して、ストーリーに関連する自分の考えを話すことができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 教材類を積極的に活用し、主体的に表現活動を行う。	○ ○ ○ ○ ○	15
学年末考査					○ ○ ○ ○ ○	1





高等学校 令和6年度（1学年用）教科 情報 科目 情報 I

教科：情報 科目：情報 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（（実教7 情 I 705）最新情報 I）

教科 情報 の目標：

- 【知識及び技能】 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	オリエンテーション	・中学校までの学習、経験等既習内容の調査を行う。 ・コンピュータの起動や終了の方法、OSの基本操作について練習する。 ・ファイルの保存、読み込み、共有フォルダの利用方法について理解する。 ・コンピュータ教室の使い方を理解する。	・コンピュータを起動し、アプリケーションで作成したファイルを保存したり、保存したファイルを読み込んだりすることができる。	○			1
	第1章 情報社会と私たち	情報社会の現状について理解する。 情報の特性について理解する。 情報のモラルと情報化が個人に及ぼす影響について理解する。 知的財産権について理解する。 他人の著作物を適切に利用したり、自分の著作物を公開したりする方法を理解する。 個人情報とプライバシーについて理解し、それらを保護する方法を身に付ける。 社会の中で活用されている情報技術について理解する。 様々な情報技術について理解し、課題解決の方法について考える。	情報社会の現状についてインターネットなどで調べようとしている。【主】 データ、情報、知識の意味と相互の関係について説明することができる。【知】 ビッグデータの意味について説明することができる。【知】 ビッグデータの活用例をあげることができる。【思】 情報化が進化する社会の特質について説明することができる。【知】 ネット依存など、情報化が個人に及ぼす影響について考え、自らの情報活用について振り返り、改善しようとしている。【主】	○	○	○	7
	1 情報社会	情報社会の現状について理解する。	情報社会の現状についてインターネットなどで調べようとしている。【主】				
	1 情報社会と情報	情報の特性について理解する。	データ、情報、知識の意味と相互の関係について説明することができる。【知】				
	2 情報の特性	情報のモラルと情報化が個人に及ぼす影響について理解する。	ビッグデータの意味について説明することができる。【知】				
	3 情報のモラルと個人に及ぼす影響	知的財産権について理解する。	ビッグデータの活用例をあげることができる。【思】				
	2 情報社会の法規と権利	他人の著作物を適切に利用したり、自分の著作物を公開したりする方法を理解する。	情報化が進化する社会の特質について説明することができる。【知】				
1 知的財産	個人情報とプライバシーについて理解し、それらを保護する方法を身に付ける。	ネット依存など、情報化が個人に及ぼす影響について考え、自らの情報活用について振り返り、改善しようとしている。【主】					
3 個人情報の保護と管理	社会の中で活用されている情報技術について理解する。						
1 社会の中の情報システム	様々な情報技術について理解し、課題解決の方法について考える。						
2 情報技術と課題解決							
第2章 メディアと情報デザイン	メディアには種類があることを理解し、メディアの発達について知る。 メディアの特性について理解し、目的に応じたメディアを選択することができる。 コミュニケーションの形態 4 インターネットのコミュニケーションの特徴について理解する。	電子メール、SNSなど、インターネットを利用する各種メディアとその特性について説明することができる。【知】 適切かつ効果的にコミュニケーションを図るために情報メディアを適切に選択することができる。【思】 自らのメディア活用について振り返り、より効果的な表現や情報伝達ができるように改善しようとしている。【主】	○	○	○	5	
1 メディアとコミュニケーション	メディアには種類があることを理解し、メディアの発達について知る。	電子メール、SNSなど、インターネットを利用する各種メディアとその特性について説明することができる。【知】					
1 メディアの発達	メディアの特性について理解し、目的に応じたメディアを選択することができる。	適切かつ効果的にコミュニケーションを図るために情報メディアを適切に選択することができる。【思】					
2 メディアの特性	コミュニケーションの形態	自らのメディア活用について振り返り、より効果的な表現や情報伝達ができるように改善しようとしている。【主】					
3 コミュニケーションの形態	インターネットのコミュニケーションの特徴について理解する。						
4 インターネットのコミュニケーション							
定期考査				○	○	○	1
第2章 メディアと情報デザイン	社会の中で利用されている情報デザインについて理解する。 情報を正確に、わかりやすく伝える方法について理解する。 報告書やレポート、論文を作成するための手順について理解する。 プレゼンテーションの手順とスライド作成について理解する。 Webページ作成の方法について理解する。	Webアクセシビリティ、ユーザビリティの意味について説明することができる。【知】 Webアクセシビリティやユーザビリティを高めるためにユーザーインタフェースを改善することができる。【思】 効果的なコミュニケーションや問題解決のために、主体的に情報を整理したり、わかりやすく伝達したり、操作性を高めたりする努力をしようとしている。【主】	○	○	○	7	
1 情報デザイン	社会の中で利用されている情報デザインについて理解する。	Webアクセシビリティ、ユーザビリティの意味について説明することができる。【知】					
1 社会の中の情報デザイン	情報を正確に、わかりやすく伝える方法について理解する。	Webアクセシビリティやユーザビリティを高めるためにユーザーインタフェースを改善することができる。【思】					
2 情報デザインの工夫	報告書やレポート、論文を作成するための手順について理解する。	効果的なコミュニケーションや問題解決のために、主体的に情報を整理したり、わかりやすく伝達したり、操作性を高めたりする努力をしようとしている。【主】					
3 情報デザインの実践	プレゼンテーションの手順とスライド作成について理解する。						
1 文書の作成	Webページ作成の方法について理解する。						
2 プレゼンテーション							
3 Webページ							
第5章 問題解決とその方法	問題解決の手順について理解する。 問題の発見の方法について理解する。 問題を明確化する方法について理解する。 解決案を検討したり、整理・分析したりする方法について理解する。 実行した解決案を評価する方法について理解する。	問題解決の評価の方法について理解している。【知】 問題解決に適合した評価を計画・実施し、分析しやすいように評価結果をまとめることができる。【思】 試行錯誤しながら、粘り強く問題の発見・解決に取り組んでいる。【主】 問題解決の結果を振り返り、積極的に自己評価や相互評価を行い、改善を図ろうとしている。【主】	○	○	○	6	
1 問題解決	問題解決の手順について理解する。	問題解決の評価の方法について理解している。【知】					
2 問題の発見	問題の発見の方法について理解する。	問題解決に適合した評価を計画・実施し、分析しやすいように評価結果をまとめることができる。【思】					
3 問題の明確化	問題を明確化する方法について理解する。	試行錯誤しながら、粘り強く問題の発見・解決に取り組んでいる。【主】					
4 解決案の検討	解決案を検討したり、整理・分析したりする方法について理解する。	問題解決の結果を振り返り、積極的に自己評価や相互評価を行い、改善を図ろうとしている。【主】					
5 解決案の決定							
6 解決案の実施と評価							
定期考査				○	○	○	1
2 学 期	第5章 問題解決とその方法	データを収集したり、整理したりする方法について理解する。 表計算ソフトの活用方法について理解する。 データを適切なグラフや図に表現する方法を理解する。 データ分析の手法について理解する。 データベースの種類とその仕組みについて理解する。 モデル化の意味について理解する。 モデル化の種類について理解する。 モデル化の分類について理解する。 モデル化する手順と方法を理解し、様々なモデルを作成する。	データの種類と尺度水準について理解し、収集したデータを整理することができる。【知】 問題解決の目的や内容に沿って、適切に尺度水準を用いてデータの整理を行うことができる。【思】 問題の発見や解決のために、オープンデータの選択やサンプリングなど、データを主体的に収集しようとする。【主】 モデル化およびシミュレーションの意味について説明することができる。【知】 モデル化およびシミュレーションが、社会の問題解決に果たす役割について考え、事例をあげて説明することができる。【思】 現実の現象についてのモデル化に関心をもち、自ら進んでモデル化を試みるなど、主体的に学習に取り組んでいる。【主】 例題のシミュレーションの結果は、試行するたびに変わることの意味を考え、確率的モデルとほかのモデルとを比較・検討することができる。【思】	○	○	○	12
	2 データの活用	データを収集したり、整理したりする方法について理解する。	データの種類と尺度水準について理解し、収集したデータを整理することができる。【知】				
	1 データの収集と整理	表計算ソフトの活用方法について理解する。	問題解決の目的や内容に沿って、適切に尺度水準を用いてデータの整理を行うことができる。【思】				
	2 データ分析と表計算	データを適切なグラフや図に表現する方法を理解する。	問題の発見や解決のために、オープンデータの選択やサンプリングなど、データを主体的に収集しようとする。【主】				
	3 データの可視化	データ分析の手法について理解する。	モデル化およびシミュレーションの意味について説明することができる。【知】				
	4 データ分析の手法	データベースの種類とその仕組みについて理解する。	モデル化およびシミュレーションが、社会の問題解決に果たす役割について考え、事例をあげて説明することができる。【思】				
	5 データベースとは	モデル化の意味について理解する。	現実の現象についてのモデル化に関心をもち、自ら進んでモデル化を試みるなど、主体的に学習に取り組んでいる。【主】				
	3 モデル化	モデル化の種類について理解する。	例題のシミュレーションの結果は、試行するたびに変わることの意味を考え、確率的モデルとほかのモデルとを比較・検討することができる。【思】				
	1 モデル化とシミュレーション	モデル化の分類について理解する。					
	2 モデルの種類	モデル化する手順と方法を理解し、様々なモデルを作成する。					
3 モデル化の手法	シミュレーションの意義について理解し、確率的モデルのシミュレーションを行う。 問題解決のためにシミュレーションを活用する。 問題解決のためにシミュレーションを活用する。						
4 シミュレーション							
1 シミュレーションの実際							
2 モンテカルロ法							
3 モデル化とシミュレーションによる問題解決							
定期考査				○	○	○	1
第6章 アルゴリズムとプログラミング	アルゴリズムを用いてプログラムを表現する方法を理解する。 プログラミング言語の種類とその特徴について理解する。 変数を使用したプログラムを作成する。 関数を使用したプログラムを作成する。	アルゴリズムとプログラムについてそれぞれ説明することができる。【知】 アルゴリズムの基本制御構造（順次、選択、反復）の違いについて説明することができる。【知】 簡単なアルゴリズムを文章やフローチャートなどの図で表現できる。【思】 基本制御構造（順次・選択・反復）を適切に用いて、簡単	○	○	○	12	
1 プログラミングの方法	アルゴリズムを用いてプログラムを表現する方法を理解する。	アルゴリズムとプログラムについてそれぞれ説明することができる。【知】					
1 アルゴリズムとその表記	プログラミング言語の種類とその特徴について理解する。	アルゴリズムの基本制御構造（順次、選択、反復）の違いについて説明することができる。【知】					
2 プログラミング言語	変数を使用したプログラムを作成する。	簡単なアルゴリズムを文章やフローチャートなどの図で表現できる。【思】					
2 プログラミング言語	関数を使用したプログラムを作成する。	基本制御構造（順次・選択・反復）を適切に用いて、簡単					

